

●三位一体後第十三主日

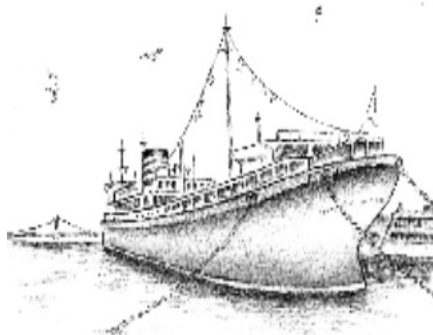
泉のほとり

今月の詩編「第百十一編」

主を畏れることは知恵の初め。

これを行う人はすぐれた思慮を得る。

主の賛美は永遠に続く。



信仰者を生かす力

ハイデルベルク信仰問答は「生きる時も死ぬ時も、あなたのただひとつの慰めは何ですか」という問いで始まります。「わたしが救い主イエス・キリストのものであること」が答えです。そして、この慰めの中で生きるためには、自分の罪と悲惨の大きさ、そこからどのように救われるか、そしてその救いにどれほど感謝すべきかを知る必要があると続くのです。

今日の物語に登場する女性は、町で「罪深い女」と呼ばれていました。神の戒めを無視して生きる者として社会から排除され、レットテルを貼られていた人です。一方、シモンはファリサイ派の人で、神の戒めを厳格に守り、罪人たちと自分を分離することで正しさを保とうとしていました。

そのようなファリサイ派の家に、罪人が来ることはあり得ません。しかし彼女は、そこに主イエスがおられると聞き、危険を承知でやって来ました。彼女は主イエスの後ろから近づき、その足を涙でぬらし、髪でぬぐい、接吻し、香油を塗りました。

彼女が涙を流したのは、主イエスの汚れた足を見たからです。それは主イエスが罪人や徴税人たちの間を歩き回り、彼らと交わられたことのしるしです。人々から「徴税人や罪人の仲間」と罵られても、主は彼らと共に食卓を囲み、「あなたも神の恵みで生きている」と示し続けられたのです。

多くの人が、この女性も以前、主イエスとの食卓の交わりに触れ、罪を赦されて神の恵みに生きる希望を受け取っていたと考えています。その恵みの大きさが

心に深く届いていたからこそ、彼女は、最善の方法で感謝を表したのです。

それを理解できなかったシモンに主は、五百デナリオンと五〇デナリオンの借金を帳消しにされた二人のたとえを語り、「この人が多くの罪を赦されたことは、わたしに示した愛の大きさがわかる」と言われました。主は、女性だけでなくシモンもまた少ない罪を赦される必要があることを示されたのです。そのために主はシモンと食卓を共にしてくださいましたが、彼はその恵みに気づくことができませんでした。

主イエスは最後に女性へ「あなたの罪は赦された」「あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい」と宣言されました。それは言葉だけの慰めではありません。主イエスは後に十字架で、彼女の罪も、私たちすべての罪も背負い、命をもって赦しを実現してくださるからです。だから主が「安心して行きなさい」と言われたなら、本当に安心して生きてよいのです。

この物語は、わたしたちのためのものです。主イエスは今も礼拝においてわたしたちを訪れ、罪の赦しの恵みを差し出してくださいるからです。わたしたちは罪が多くても少なくても、皆が赦しを必要とし、赦された者として主の前に立つのです。物語の女性は主に香油を献げました。できることは人それぞれです。しかしその中心にあるのは感謝の思いです。その思いの中にわたしたちの力があります。わたしたちをひとつにして、信仰者として歩ませる力です。

(ルカ七章三六〜五〇節 吉村和雄 名誉牧師)

《私たちのビジョン》

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《2026年度

教会全体課題》

神さまによって

示された新しい歩みの中で、

キリストの体としての一致を

祈り求める

ーコミュニケーション、交わり、

伝道、学びなどを通してー

《今日のお知らせ》

○ 藤田敏子姉が28日未明、98年のこの地上での許された歩みを終えられました。昨日に納棺式が行われ、その後、ご遺族と話し合い、次のように日程を決めました。

出棺式 9月2日(水) 午後12時40分

葬式 9月12日(土) 午後2時

○ 例年九月に、説教塾のための献金をお願いしています。献金は、説教塾の運営のほか、地方の牧師が説教セミナーで学ぶ場合の交通費の補助などに用います。事務所のカウンターに袋がありますので、それを用いて、献金は吉村牧師にお渡しください。吉村牧師が不在の場合は、事務所へお預けください。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《役員会より》

九月一三日の礼拝後、教員懇談会を開催します。今月は吉村和雄先生に「品川教会が大切にしてきたこと」というテーマでお話ししていただきます。皆さまご都合をつけてご参加ください。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

（司・会）の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇百十一篇】

（司・会）

ハレルヤ。

わたしは心を尽くして主に感謝をささげる

正しい人々の集い、会衆の中で。

主の御業は大きく

それを愛する人は皆、それを尋ね求める。

主の成し遂げられることは栄え輝き

恵みの御業は永遠に続く。

主は驚くべき御業を記念するよう定められた。

主は恵み深く憐れみに富み

主を畏れる人に糧を与え

契約をとこしえに御心に留め

御業の力を御自分の民に示し

諸国の嗣業を御自分の民にお与えになる。

御手の業はまことの裁き

主の命令はすべて真実

世々限りなく堅固に

まことをもって、まっすぐに行われる。

主は御自分の民に贖いを送り

契約をとこしえのものと定められた。

御名は畏れ敬うべき聖なる御名。

主を畏れることは知恵の初め。

これを行う人はすぐれた思慮を得る。

（司・会）

主の賛美は永遠に続く。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「食べてはいけない木の実」

聖書 創世記3章1〜7節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「罪が待ち伏せる」

聖書 創世記4章1〜8節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

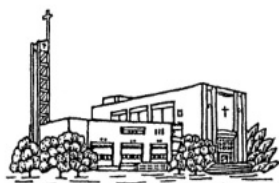
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 70番 334番

説教 「本当に必要なことを見分けるように」

聖書 フイリピー1章1〜11節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 67番 19番
説教 「神の前にいるのです」
聖書 使徒10章23b～33節(新約 P.233)
司式 石川 一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲「アリア ヘ長調 (F.クーランによる)」

J.S.ハッハ

○讃美歌67番

- 1.よろずのものとわにしらす み父よ
いまめぐみをくだしたまえ
み名をほむる われらに
- 2.ひととなりし すくいのみ子 主イエスよ
利きつるぎの みことばもて
しめたまえ まことを
- 3.いともつよき なぐさめぬし みたまよ
わがころを おさめたまえ
今よりのち はなれで
- 4.三つにまして ひとりにます みかみよ
み名のさかえ ほめたたえて
とこしなえに したがわん

アーメン

○讃美歌19番

- 1.みこえきくとて みまえにつどいぬ
あまつみおしえ ゆたかにたまえや
こころもわが主と ひとつに合うまで
- 2.知恵とさとりは くらきにとぎされ
みたまのちから うくるによしなし
わが主よ みひかり とく照らしたまえ
- 3.さかえの主なる ひかりのひかりよ
われらのくちと こころをひらきて
いのりとほめうた ささげしめたまえ

アーメン

聖餐曲「みこえ聞くとて」J.G.ヴァルター

後奏曲「我があがない主を神に感謝せん」

ジョン・A・フルマン